

鹿折まちづくり協議会の活動及び情報発信のための拠点ができました。場所は仮設商店街「鹿折復幸マルシェ」のB棟2階に設置しています。

まちづくり協議会の活動拠点の位置

この地図は、仮設商店街「鹿折復幸マルシェ」の建物配置と各階のテナントを詳細に示しています。A棟2階にはコミュニティスペースが設置されています。B棟2階の中央の部屋が活動拠点の位置です。

活動拠点の設置目的と紹介

鹿折地区内でのまちづくり活動や行政の復興計画の状況などを住民の方々が常に情報共有できる場所として拠点を設けています。



鹿折地区の模型や若者部会で話し合ってきた内容と鹿折の将来像の図面を展示しています。休憩やお茶っ子できるスペースもあります。

拠点はどなたでも利用可能です。お気軽にお立ち寄りください！  
拠点場所にはまちづくり協議会の事務局員も常駐しております。

まちづくり通信 Vol.4

2013年  
3月17日  
開催分

制作・発行 鹿折地区まちづくり協議会

この「通信」は、3月17日に行われた「鹿折まちづくり協議会とアドバイザーとの懇談会」の内容を、鹿折地区に住む住民の方々に被災して、地元を離れて暮らす方々に知っていただくため、発行しています。

- 日時 2013年3月17日(日) 13時30分～15時00分
- 参加者 17名  
(鹿折まちづくり協議会役員14名)  
(市議会議員3名)  
(+アドバイザー4名)  
(+オブザーバー11名)
- 場所 東中才振興会館
- 主催 鹿折まちづくり協議会

「鹿折地区まちづくり協議会 役員会」

2013年3月17日に鹿折まちづくり協議会定例役員会が東中才振興会館で開催されました。

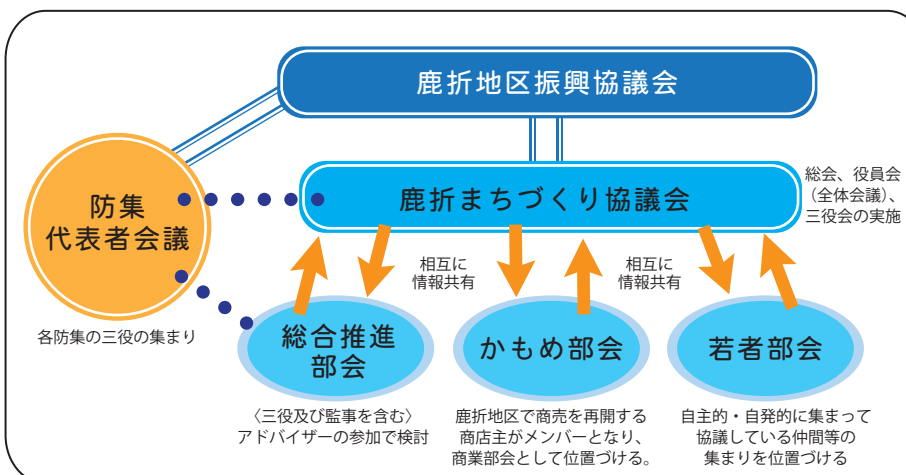
当日は協議会役員とアドバイザーが集まり、懇談会形式で話し合いがおこなわれました。はじめに、鹿折まちづくり協議会会長の鈴木博氏から開会の挨拶が行われました。

そのあと、「若者部会」と「かもめ部会」から活動報告が行われました。若者部会では、2012年10月から鹿折地区の若手世代(40代中心)で集まり、継続的に鹿折のまちの将来像について話し合っており、その内容が報告されました。「かもめ部会」では、鹿折地区で今後、商店街組織をどのように構成していくのかを話し合っており、今までおこなってきた会合について報告されました。各部会の活動報告後は、まちづくり協議会役員とアドバイザーとで、まちづくり協議会の今後の進め方と体制づくりについて意見交換を行いました。アドバイザーからはまちづくり協議会の「活動拠点の設置」や「情報の共有化」「事務局体制の整備」などが今後の課題として挙げられ、今後のまちづくり協議会のあり方が全体で共有されました。また、定期的に鹿折のまちづくりについて話し合える機会を設けるために、まちづくり協議会の定例会の実施も提案されました。

\*当日の概要・プログラム\*

- 1 開会・挨拶**  
懇談会の司会進行役に事務局の小松洋一氏が務め、はじめに会長の鈴木博氏から開会の挨拶がおこなわれました。
- 2 各部会の活動報告**  
「若者部会」と「かもめ部会」から今まで行ってきた活動内容と今後の活動方針について報告されました。
- 3 今後の協議会の体制・進め方**  
協議会役員とアドバイザーとで、今後の協議会の体制について意見交換が行われました。
- 4 閉会**  
閉会の挨拶を副会長の佐藤良治氏からおこなわれ、当日の役員会は閉会いたしました。

鹿折まちづくり組織図



10月19日から鹿折地区に住んでいた若手世代（40代）の方が1週間に1回の頻度で集まって、話し合いを重ねてきました。以下に部会で話し合われた内容を記載いたします。

回数	開催日	内容
第1回目	10月19日	鹿折のまちの現状と課題について話し合い
第2回目	10月26日	鹿折のまちの現状と課題について話し合い
第3回目	11月4日	鹿折のまちの現状と課題について話し合い
第4回目	11月20日	過去三回の話し合ってきた内容を整理
第5回目	11月29日	将来のまちに対する提案・計画
第6回目	12月9日	将来のまちに対する提案・計画
第7回目	12月20日	まちづくり協議会役員との意見交換
第8回目	1月13日	専門家を招いてのまちづくり勉強会
第9回目	1月27日	意見書提出に向けての意見交換
第10回目	2月3日	まちづくり協議会役員との意見交換
第11回目	2月13日	まちづくり協議会役員との意見交換



各回の話し合いの内容

第1～4回目

鹿折のまちの現状と復興に向けた課題について話し合いました。話し合いの中では「住まい」、「商売」、「避難」、「共徳丸」、「復興計画」の意見が中心に挙がりました。

第5・6回目

鹿折まちづくり協議会規約に記されている目的でもある「安全」「快適」「活力」「楽しく」「住みよい」という5つのテーマに絞って、鹿折地区の復興計画案を考えていきました。

第7回目

1～6回目まで話し合ってきた内容をまちづくり協議会の役員の方々に、知っていただく機会として懇談を行いました。当日には「若者部会」の組織が正式に位置づけられた。

第8回目

UR 都市機構の方をお招きし、行政の復興計画事業の概要の説明や今後の住民側でおこなえることを勉強会形式で話し合いをおこないました。

第9・10回目

鹿折地区全体の復興計画に対し、意見書の提出をおこなうために話し合いました。当日は、協議会役員と若者部会のメンバーを交えて、意見書の内容を検討しました。

第11回目

今までの若者部会で議論されてきた内容を意見書案としてまとめて、当日、UR 都市機構の方をお招きし、協議会役員と若者部会のメンバーで話し合いました。

今後の検討事項

- 話し合っても行政に届かないことに不安。
- 若手部会の位置づけがあいまいだと感じている参加者もいる。
- 若者部会ってどんな位置づけ？部会の名簿などが必要かも
- かもめ通り商店街等バラバラの状態になっている。意見の集約が難しい。

鹿折地区にあったかもめ通り商店街で商売を営んでいた方々で商店街再開に向けた話し合いが行われています。将来、鹿折のまちで商売を再開するため、徐々に気運が高まっています。

部会発足の経緯と活動報告

浜商栄会の会員で今後の鹿折での商業について話し合いを行いたい経緯はあったが、市の復興計画により、かもめ通り商店街の北と南で整備計画が分かれてしまい、かもめ通り商店街内で平等に話し合うことができなかった。

2013年2月8日

浜商栄会の会員の方の現住所の確認しながら、人集めからおこなった。

2013年2月18日

都市計画課・UR・商工課を交えて、鹿折地区の商店街をどのように再建させるかを話し合った。当日の内容は、①土地区画整理事業などの勉強会  
②浜商栄会の会員34名に再建の意思があるかの確認をおこなった。

2013年3月13日

臨時総会を開催。鹿折地区で再建する商店は13名程度集まった。浜商栄会再編の検討及び再建のための方針等を話し合いました。

今後の検討事項

他地域の商店街への視察・勉強会

鹿折地区で商売を続けたい人を中心に浜商栄会の再編

女性の集まれる場も設けて、勉強会を行い、意見を取り入れたい。

公営住宅や水産加工と連携したまちづくり・商店街づくりが必要

アドバイザーからの意見と提案

各部会の活動内容に関する提案

- ・女性部会など今まで意見が聞けなかった人たちも参加できるような部会が必要
- ・各部会と協議会の情報共有できる仕組みをつくる必要がある
- ・若者部会の話しを協議会で共有し、新しいまちの姿を絵にしていける作業が必要

協議会の活動体制・運営の提案

- ・協議会の活動として事務局機能を整備し、行政へ対応するときの窓口を1本化する。
- ・協議会内でまちの全体像を話し合える場をつくっていくことも大切になってくる。
- ・協議会を通じて、住民、一人ひとりの不安・課題などを聞ける、届ける仕組みが重要
- ・まちづくり協議会の会合を定例化